



水澤一廣町長

令和3年度

町政

執行方針

3月の町議会定例会で、水澤町長が令和3年度の町政執行方針を述べましたので、概要を紹介します。

■はつめい

まちづくりを進めるための指針として、町内関係各位のご協力のもと議会の議決をいただき、『想いをつないで未来を創る』わたしたちのまち『うらほろ』を10年後のまちの将来像とする『浦幌町第4期まちづくり計画』を策定いたしました。

この第4期まちづくり計画では、重点プロジェクトとして「子どもを産み育てたいと思えるまち」、「仕事をつなげたい、つくりたいと思えるまち」、「住み続けたい、関わりたいと思えるまち」と掲げ、10年後の浦幌町を見据えたまちづくりを進めてまいります。

■産業の振興

畑作

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、小豆の消費量が過去最低水準になるなど先行き不透明な農業情勢の中、各種事業を通じ効率的で生産性の高い経営体の育成を図るとともに、生産性の向上と高品質な農作物を生産する取組などの支援を行ってまいります。

畜産

肉用牛の優良後継牛導入・肥育牛の地域内一貫生産の促進や乳用牛の高能力初妊牛導入に対する支援、家畜伝染病自衛防疫推進協議会の疾病予防に対する取組への助成などを引き続き実施してまいります。

林業

町有林を含む一般民有林において、森林環境譲与税を活用しながら一定面積の植栽が着実に進んでおり、今後も安定的な木材生産を目指すための人工林資源構成の平準化に向けた取組を進めてまいります。

漁業

「つくり・育てる漁業」の推進をはじめ、漁獲向上のため緊急漁場保全活動や、回帰資源造成のための秋さけふ化放流事業、種苗中間育成事業のほか、海面養殖漁業支援事業などの各種支援事業を実施してまいります。

商工業

コロナ禍による影響や町内の商工事業者の後継者不足など喫緊の課題を抱えており、商工会が実施する経営改善普及事業などにより行う積極的な事業展開に支援を行うほか、事業承継を推進する中小企業経営承継事業、町内消費拡大を図る行政ポイント事業の創設などに加え、新規創業・第二創業への支援を継続し、商工会や金融機関との情報交換や連携体制を強化しながら

ら、地域経済の活性化を図ってまいります。

観光

新型コロナウイルス感染症対策を講じた中で「森林公園」、「留真温泉」、「道の駅」を核とした本町の観光やイベント情報の広告宣伝を積極的に実施し、浦幌町観光協会が実施する事業に対する支援や、浦幌町で起業した旅行者などと連携して地域資源を生かした体験型観光を推進するなど、コロナに負けない浦幌町の魅力を発信してまいります。

■福祉・保健予防・医療対策

児童福祉

本年、4月1日に開園する認定こども園では、教育・保育を一体的に提供していくとともに、保健福祉センターから子育て支援センターを移設し、地域の子育て家庭への支援を一体的に提供し、機能の充実を図ってまいります。

また、上浦幌ひまわり保育園に認定こども園で調理した給食を搬出することにより、保育園機能の充実と保護者負担の軽減が図られるよう北海

道と協議を進めてまいります。

保護者が日中家庭にいない児童の健全な育成を図るため「上浦幌児童クラブ」及び「学童保育所」における保育環境の充実に努めるとともに、子育て支援センターによる「浦幌町ファミリーサポート事業」を引き続き実施してまいります。

障がい者福祉

「第3期浦幌町障がい者計画・第6期浦幌町障がい福祉計画」では、「障がい」に理解のある地域で創る「安心なまちづくり」を基本理念に掲げ、障がいの有無にかかわらず、誰もが互いに人格と個性を尊重し合いながら、安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、各種施策を実施してまいります。

高齢者福祉

高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」を推進してまいります。

保健予防

新型コロナウイルスフク

ン接種について、国が示す接種対象者の順に沿って、万全な体制のもとで速やかに接種することができるよう、町立診療所と十分に連携を取り進めることも、対象となる方が自らの意思で接種の有無を決めていただくことができるよう、ワクチンの効果や副反応について、わかりやすい情報提供に努めてまいります。

また、季節性インフルエンザ予防接種に要する費用につきましては、高校生が負担する1人1回あたりの金額を2000円から1000円に引き下げ、世帯の経済的負担の軽減と接種率の向上に努めてまいります。

町立診療所

日曜診療は、外来患者数の減少などにより3月をもって廃止することいたしました。

今後とも町内唯一の地域密着型医療機関として、医療体制の確立を維持し、患者様に寄り添い、町民の皆様が安心して暮らせるよう安全で信頼できる診療所づくりに努めてまいります。

■防災・減災対策

災害時における情報伝達手

段については、これまでのデジタル防災行政無線に加え、新たな防災情報伝達システムを導入し、町民への情報伝達の充実を図ってまいります。

また、「森林公園キャンプ場」をはじめ、町内6か所の屋外における通信環境の充実を図るため、新たに公衆無線LAN環境整備を実施してまいります。

■行政サービスの向上

戸籍の謄抄本や住民票などの交付事務について、新たに厚内郵便局と吉野郵便局で取り扱うこととし、効率的な行政サービスを提供してまいります。

■定住・移住、交流・関係人の拡大対策

「うらほろスタイル推進事業」や「うらほろスタイル複合施設FUTABA」の有効活用について、NPO法人うらほろスタイルサポートと連携を図り、交流・関係人口の拡大に努めてまいります。

常室ラボ運営事業につきま

しては、テレワークなど、都会から地方への人の流れを受

け入れる施設として、今後も継続して事業を展開するため、管理運営を民間委託し、通年での活動を実施するとともに、林業木材産業をはじめとする人材育成のほか、地域間交流事業を引き続き展開してまいります。

■協働のまちづくり

広報誌、ホームページ、電子メール配信に加え、地デジ広報やLINE（ライン）を活用した情報発信のほか、「まちづくり出張説明会」などを実施しており、様々な方法をもって行政情報を届けながら、多くの方がまちづくりに参加できる機会の充実を図ってまいります。

■第4期まちづくり計画重点プロジェクト

重点プロジェクト1

「子どもを産み育てたいと思えるまち」

家庭をつくりたいと思える環境の充実のため、結婚祝い事業、うらフェス交流事業を新たに実施することにも、安心して子育てできる環境の充実のため、現在、中学生ま

でとっている医療費の無料化について、対象を高校生世代まで拡大してまいります。

このほか、町独自で実施する全世帯、保育料等完全無償化、出産祝金の贈呈、給食費の無料化、2歳児未満の紙おむつ購入費助成、不妊に悩むご夫婦を支援するため特定不妊治療費及び不育症治療費の助成などを継続実施してまいります。

重点プロジェクト2

「仕事をつなげたい、つくりたいと思えるまち」

新たに雇用機会の確保と地元就職の促進のため、中小企業経営承継事業、資格取得促進事業、就業人材育成事業、U・Jターン新規就業移住支援事業を実施することにも、創業支援の推進のため、就業チャレンジ事業を実施してまいります。

このほか、雇用促進事業補助、新規創業等促進補助、地域産業活性化補助による支援と浦幌町工場工業等振興条例及び浦幌町企業誘致促進条例における助成措置などを引き続き行い、担い手確保、雇用の創出促進に努めてまい

ります。

重点プロジェクト3

「住み続けたい、関わりたいと思えるまち」

町民や転入者への住宅建設・購入に対する支援措置としての定住住宅取得補助、民間賃貸住宅建設促進事業補助、住宅リフォーム補助及び店舗等リフォーム補助などを継続し、居住環境の整備充実を図ってまいります。

■むすびに

「コロナ禍にあつて、人の往来や交流が制限され、事業の実施が難しい場面も想定される中ではありますが、町民の安全確保と町内の経済安定のため、新型コロナウイルス感染症対策を進めつつ、第4期まちづくり計画のまちの将来像である『想いをつないで未来を創る』をわがまちの「まち」うらほろの実現に向けて、町民の皆様とともに、町政の運営に取り組んでいきたいと思います。



水野豊昭教育長

令和3年度

教育行政 執行方針

3月の町議会定例会で、水野教育長が令和3年度の教育行政執行方針を述べましたので、概要を紹介いたします。

危機管理マニュアルの点検・見直しを行い、交通安全の徹底に向けた指導や、各学校において1日防災学校の実施をするともに、不審者や登下校時の総合的な安全対策についても関係機関や支援団体の協力のもとに取り組みます。

文部科学省が示すGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台に配備したタブレット型パソコンの授業における効果的な活用方法を検証するとともに、情報活用能力の育成に向けた教育活動を実践していきます。

キャリア教育
自己肯定感の育成や人間関係形成能力の育成を目指し、地域の人材活用や関係団体との連携を深めます。

生徒指導
小中一貫教育推進の観点に立ち、「浦幌町いじめ防止対策基本方針」を柱に、「学校いじめ防止基本方針」によるいじめの未然防止、早期発見・早期解消等に努め、「十勝いじめ根絶強化月間」と連動した、いじめ防止の取組を推進します。

■はじめに

浦幌町では、「自立」と「協働」の教育理念を掲げ、小中一貫コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に取り組み、地域総ぐるみでふるさとを愛する心を育むとともに、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現させ、確かな学力に基づいた「生きる力」を育成していきます。

また、総合教育会議などを通じて、町長と教育委員会が円滑な意思疎通を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立って教育活動を展開し、「社会に開かれた地域と

もにある学校づくり」及び「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を進めていきます。

■学校教育

①魅力ある学校づくり

「社会に開かれた教育課程」の実現を図るため、浦幌町小中一貫コミュニティ・スクール推進計画を策定し、学校運営協議会などにおいて、学校と家庭・地域が熟議を通して、ビジョンや望ましい子ども像、課題や情報を共有し、相互に連携・協働して地域とともにある学校づくりを目指し推進していきます。

安全教育・防災教育

さらに、浦幌町通学路交通安全プログラムに基づき、児童生徒が安全に通学できるよう、通学路の安全確保に引き続き取り組みます。

②確かな学力

全国学力・学習状況調査などを活用した検証改善サイクルに基づき、小中及びこども園等合同の研修会や乗り入れ授業などを実施します。

地域総ぐるみで「早寝・早起き・朝ごはん（あいさつ・ノートレビデー）運動」を継続するとともに、「スマホ・ゲーム機使用のルール」に基づき生活リズムの改善に取り組みます。

③豊かな心

命の大切さ、人を思いやる心の育成を推進し、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習が行われるよう、組織的な授業改善の推進に努めます。

命の大切さ、人を思いやる心の育成を推進し、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習が行われるよう、組織的な授業改善の推進に努めます。

④健やかな体

児童生徒が体力の向上を実感し、自己肯定感や達成感を保護者と共有していく組織的な体力向上の取組を進めます。また、新型コロナウイルス感染症に備えた適切な対応を行うため、「学校の新しい生活様式」の徹底などを図ります。

学校給食

食育の推進、地場産食材の

活用推進、食物アレルギーへの対応などの基本構想に基づき、学校給食衛生管理基準に則った運営を図り、安心安全なバランスの取れた栄養豊かな給食の提供に努めることも、「浦幌みのり給食」の実施と学校給食の無料化を継続していきます。

⑤資質の向上と組織の活性化

教職員の服務規律の徹底や資質の向上、学校組織の活性化に努め、教職員が健康に働くことができる環境整備に向けて、統合型校務支援システムの活用や変形労働時間の導入検討など、働き方改革を着実に進めていきます。

⑥教育環境の整備

児童生徒などの安全・安心な学習・生活環境を確保するため学校室内環境測定などの実施を継続するほか、各学校の保健室、パソコン教室の空調設備設置、スクールバスの更新、浦幌小学校教頭住宅建

替工事などの整備を行います。

■社会教育

本年度より開始する、「第9期浦幌町社会教育中期計画」を基盤とし、主体的に学べる社会教育・生涯学習の充実に努めます。

①生涯学習の推進

地域学校協働本部とコミュニティ・スクールが連携・協働しながら、「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」の担い手育成に努め、持続可能な地域教育力の向上を目指します。

各公民館は、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら社会教育施設を有効活用した公民館まつりや文化祭、文化週間など各種事業と、ICTを活用した、「うらほろ」らしい生涯学習の推進に努めます。

公民館の整備

厚内公民館トイレ改修工事を実施し、高齢者などに配慮

した利用しやすい施設整備を進めます。

家庭教育

子育て支援センターと連携した「子育て出前ミニ講座」や「親子ふれあい講演」を開催し、学習機会や情報交換の充実に努めます。

少年教育

自立・自律心を伸ばし、郷土愛と生きる力を育むため、学校・家庭・地域と連携しながら、子ども居場所づくり事業や通楽(学)合宿などの事業を実施します。

高齢者教育

高齢者の経験と特技を伝承し、学校と連携・協働した世代間交流の機会の充実と促進を図るため、寿大学を継続しながら元気でシルバライフを営まれるような環境づくりを目指します。

図書館事業

ボランティアの活動支援を継続し、連携・協働しながら各種読書活動の推進を図るとともに、お話し会や赤ちゃん

タイムを活性化し、親子が気軽に足を運びたくなるような図書館運営に努め、学校図書室や公民館図書室と連携を図りながら、地域総ぐるみで読書活動を推進していきます。

博物館事業

ホームページ開設や資料データベース整備などの情報システムを導入することも、町内に点在する各種文化財について調査・研究し、「後世に守り伝えるべき貴重な財産」として認識できるように指定文化財の新規指定を目指します。

アイヌ文化

アイヌ振興法に基づきラポロアイヌネイションやアイヌ民族文化財団と連携し、先住民族の歴史と文化を発信する事業の充実に努めます。

②スポーツの振興

生涯スポーツの振興 障がいの有無に関わらず体力や年齢、そして目的に応じて気軽にできるスポーツ教室

を中心とした生涯スポーツの振興を目指します。

スポーツの生活化・定着化

を促進するため、スポーツ推進委員と各種スポーツ団体と連携して、スポーツ指導者への講習会を開催しながら人材育成を図るとともに、町の体育施設を自主的に管理していただいている関係団体と密に連絡を取り合いながら、安全なスポーツ活動の環境整備に努めます。

体育施設の整備

アイスアリーナ用製氷車更新整備、浦幌パークゴルフ場防球ネット設置工事等を行い、利用者の安全確保と機能の充実に努めます。

■むすびに

「十勝はひとつ、子どもたちのために」との熱き思いを胸に、地域の皆様とともに浦幌町の教育を前進させてまいります。